
手紙

綾河春風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

手紙

【Nコード】

N5128B

【作者名】

綾河春風

【あらすじ】

仲の良い後輩からもらった手紙。友達から一歩進む勇氣。別離の悲しみ。でもやっぱり好きだから夢を邪魔したくない。短い短い手紙の中に詰まった少女の想い……

市井悠先輩

卒業おめでとうございます。

なんて今更変かな。

次期部長のとしての守永唯としての言葉のつもりで書いたんだけど。

悠くんが現役のうちに県大会に行きたかった。

来年は絶対に行ってみせる。

だから応援しててね。

いまだに悠くんが卒業しちゃうなんて全然実感わかない。

悠くん、東京の大学に行っちゃうんだよね。

寂しい…すごく寂しい。

悠くん、本当に行っちゃうの？

お願いだから、もう少しだけいてくれるだけでいいから行かないで。

悠くんの夢を邪魔しちゃいけないのは分かってる。

でも離れたくない。

悠くん、私、悠くんには何でも話せるって言ったことあるよね。

悠くんは私の一番の友達だよって。

私は悠くんに嘘をつきました。

すごく大きい嘘。

私、悠くんにひとつだけ言ってないことがあったの。

たった4文字だけ。

好きです。

って。

このたった4文字が言えなかった私を許して下さい。
今の今になるまで言えなかった私を恨まないで下さい。

ねえ、悠くん、東京に行く前にひとつだけ教えてほしいことがあります。

悠くんにとって私は何でしたか。
友達でもいい。

うつん、ただの後輩かも知れない。
けど、悠くんの本音が聞きたい。

私のことを友達だと思っているならこの手紙は捨てて何も無かったことにしてください。

でも他の答えが聞けるなら、悠くん、引越すまでに私に教えて下さい。

大好きだから悠くんの夢を したい。
だから、最後に、東京でも って

手紙の最後は、滲んで読めなかった。
けれど僕の答えは決まりきっている。
ただ、彼女に、唯に伝わればいい。

「
」

（後書き）

勢いで書き上げました。

執筆時間30分程度。

半分ほど実話…

本当に短い作品ですが唯の手紙に込めた切ない想いを感じて頂ければと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5128b/>

手紙

2010年10月10日03時26分発行